

夏場のニラを守る！！ 決め手は部分遮光

【研究のポイント】

大分県は西日本を代表するニラの産地です。夏期に出荷するニラは、強日射や高温により葉先が枯れる症状が発生し、市場評価の低下が問題となっていました。そこで、遮光資材をハウス天井中央部に展張することで、ハウス内の気温を低下させ、葉先枯れを抑制、低減する技術を確立しました。



遮光資材の展張状況

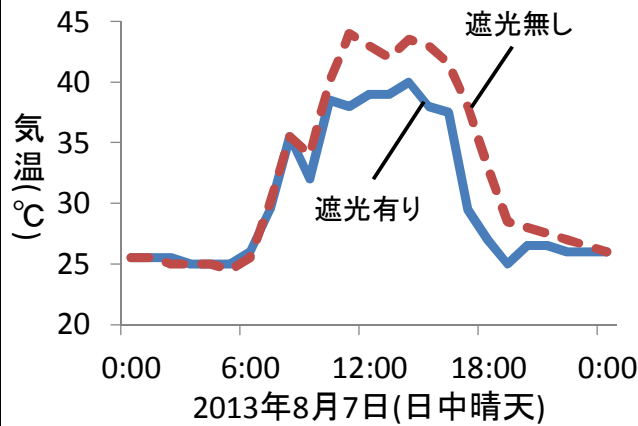


遮光ハウスでのニラの様子(8月)

【研究の成果】

＜葉先枯れ抑制技術の確立＞

遮光率の低い遮光資材を天井中央部に部分的に展張することで、適度な日射は取り入れつつも、ハウス内気温を下げることができました。また、この方法により、葉先枯れの発生を抑え、発生程度を低減することができました。



遮光有り



遮光無し

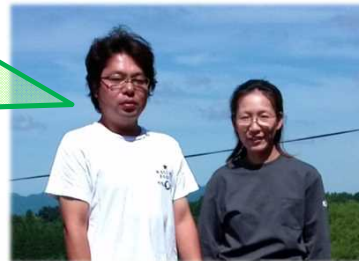
＜生産現場への普及＞

生産現場へは梅雨明け後の遮光を推進し、試験的に遮光を行う取り組みが始まっています。

【生産者の声】

夏場の葉先枯れは近年特に問題となっていました。この遮光技術で、より良い大分にらを皆様に届けられるようになればと思います。

JAおおいた野津事業部にら部会青年部長
甲斐 正則 氏



青年部長 (左)

【連絡先】

担当: 農林水産研究指導センター 農業研究部 ネギ・イモ類チーム
TEL: 0974-28-2080
住所: 大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8